

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 23 日

事業所名: 放課後等デイサービス和里-にこり-

保護者等数(児童数)

6

回収数

6

割合

100 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|--|----|---------------|-----|-----------|-----|--|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制整備 | ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 6 | | | | | ・昨年から別館で活動し指導室が以前より広くなりました。 |
| | ② 職員の配置数や専門性は適切であるか | 6 | | | | | ・基本1対1の療育ができています ・児童の特性上、複数での対応が必要な時もありますが協力し合っています |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(※1)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 6 | | | | | ・本人の居場所作りはできています ・情報伝達としてホワイトボードを活用できています |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 6 | | | | | ・1階2階の床や壁紙、トイレの改修など行いました ・清潔維持するため室内に手洗い場を付けました ・別館2階や事務所別室に体調不良児の休憩場所を用意しました ・子供たちが快適に過ごすための空間づくりはまだまだ行います |
| 適切な 支援の 提供 | ⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画(※2)が作成されているか | 6 | | | | | ・半年に1回のモニタリングで児童の報告、課題、今後の可能性をお伝えし個別支援計画に反映しています |
| | ⑥ 放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 6 | | | | | ・計画は基本ベースです。児童の成長速度、変化、保護者希望でいつでも設定変更します |
| | ⑦ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか | 6 | | | | | ・個別支援計画された内容に沿って平日用、休日用に具体的なものがあります |
| | ⑧ 活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか | 6 | | | | | ・活動は毎月職員間で内容を精査し決めたものを発行しています |
| | ⑨ 放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、他の障害のない子どもたちと活動する機会があるか | 6 | | | | | ・他の学童等の交流は前に進んでいませんが地域の児童や職員の児童と交流できる機会は増えています。 ・学校が休みの時など兄弟児さんの参加も受け入れています |
| 保護者 への 説明等 | ⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 6 | | | | | ・4月以降、新しい規定など決まります。重要事項説明書を発行しますのでご確認ください |
| | ⑪ 放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 6 | | | | | |
| | ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか | 6 | | | | | |
| | ⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 6 | | | | | ・連絡帳のモバイル化で事業所と保護者の共通理解しやすくなったと思います。連絡帳だけでなく個人的にも児童発管が連絡し情報発信しています |
| | ⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 6 | | | | | ・直接支援相談を頂いています。ご相談頂いた件は可能な限りお力になれるよう努めています |
| | ⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 6 | | | | | |
| | ⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 6 | | | | | |
| | ⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 6 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--------|---|--|---|--|--|--|--|--|
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ、みらいダイアリー連絡帳等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 6 | | | | | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 6 | | | | | |
| 非常時の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 6 | | | | | ・各マニュアルがあります。事業所内研修時にも使おうと話しています |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 6 | | | | | ・定期的に訓練を行っています。予備の医療グッズ、注入食、予備吸引機、簡易電源、それに加え避難グッズや食飲料等を備えています。グッズ関係は1年に1度期限の確認や入れ替えを行っています |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 6 | | | | ・とても満足しています | ・ありがとうございます |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 6 | | | | ・とても満足しています ・いつも丁寧に大事に接して頂きありがとうございます | ・ありがとうございます。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 26 日

事業所名: 放課後等デイサービス和里-にこり-

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 職員による工夫している点や課題改善点など | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 12 | | ・定められたスペース以上を確保しているが活動によってはなおスペースが広い方がよい ・歩行器を使用する時は少しせまいと感じることもある(かたづけたら良い?) | ・昨年より別館で活動し指導室が以前より広くなりました。 ・指導室を広く使うため預かり器具等の保管場所を今後作ります |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 11 | 1 | ・日によって職員が足りない時がある ・足りている日もあれば足りていない日もあるが殆ど足りている ・定員に対して以上の余裕のある職員配置だが足りないと感じる時もある ・日によって少ないと感じることもある | ・基本1対1の療育が出来ています ・児童の特性上、複数での対応が必要な時もありますが協力し合ってもらえると助かります |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 12 | | ・全てバリアフリーではないが段差がある所にはスロープを付けたりしてくれています ・手すりやスロープを増やし改善中。さらに使いやすい作りになればと思う ・正面入り口以外にスロープがついた | ・本人の居場所作りはできています ・情報伝達としてホワイトボードを活用できています |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 12 | | ・施設内に手洗い場を付けてくれた ・出入口に車がたくさん置かれており誘導が少し不安になる(車に当たらないか?歩行者が確認しにくい) ・手洗い場を子供たちのいる生活空間に設置してくれた ・感染症に患っていた人がいても広がっていない ・体調が悪い人がいても別室などがあり清潔維持ができています | ・1階2階の床や壁紙、トイレの改修など行いました ・清潔維持するため室内に手洗い場を付けました ・別館2階や事務所別室に体調不良児の休憩場所を用意しました ・子供たちが快適に過ごすための空間づくりはまだまだ行っています |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(年間目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 10 | 2 | ・適時参加しているが全てわかっている自信はない ・全員に...とまでは言えない気がする | ・年間目標は毎年2月に設定し目標に応じた研修会参加や資格習得を行っています ・ミーティングなどで業務の方向性やアイデア出しなど職員には参画してもらっていますが参画していることに気が付いていない職員もいるようなのでわかりやすいように改善します |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 12 | | | ・評価票だけでなく半年に一度もモニタリングや直接の訴えで意向を把握し業務改善に努めています |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の自己評価ファイル、会報やホームページ等で公開しているか | 10 | 2 | ・自己評価をしているがHP等で公開はしていない | ・事務所ファイル棚に保管しいつでも見れるようにしています ・今年度はHPにアップする予定です |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 5 | 7 | ・第三者はだれですか? ・「第三者」が誰か知らない | ・第三者評価はしていません ・していないことを知らない職員がいるので伝えていきます |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 12 | | | ・年間目標に設定した目標に応じた研修会参加や資格習得を行っています ・半年に1回保護者面談を行っています ・面談に参加できなかった保護者には専用様式を用いて保護者ニーズの把握に努めています ・個別支援計画は職員会議で話し合い作成しています |
| | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 12 | | | ・保育士が個別に支援マニュアルを作成しそれを使用している |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール又は個人計画を使用しているか | 12 | | | |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|----|--|----|---|--|---|
| 12 | 放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 12 | | ・一人一人の内容を貼ってくれているので担当児が変わっても対応できます | ・個別支援計画には保護者の要望以外に子供の成長と可能性を話し合い具体的に設定している |
| 13 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか | 12 | | ・定期的話し合い改善、実行をしている | ・児発管が管理監督しています |
| 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 12 | | ・ミーティングで毎日話し合っています ・定期的話し合い改善、実行をしている | ・定期的話し合っています |
| 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 12 | | ・個人の知的年齢もあるがもう少し刺激のある行事、プログラムがあるのではないかと感じる。 ・定期的話し合い改善、実行をしている | ・定期的話し合っています |
| 16 | (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 12 | | ・毎月、内容をみんなで話し合い決めている ・定期的話し合い改善、実行をしている | ・個別且つ休日に合わせた内容を設定し張り出している |
| 17 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 12 | | ・定期的話し合い改善、実行をしている | ・個別且つ休日に合わせた内容を設定し張り出している |
| 18 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 9 | 3 | ・打合せが出来ない日かたまにある ・ミーティングが出来る日、出来ない日がある。確認はするようにしている ・その日の業務で参加できないことがある ・ミーティングが出来る日は行い打合せをしてから子供たちを迎え入れていたが「必ず」と言われると難しい。できない時もあった | ・出来るだけ毎日行えるように工夫してくれています |
| 19 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 8 | ・その日ではないが折をみて出来ている ・毎日できていないが日によって残っている職員でしている ・あまりできていない ・その日の業務で参加できないことがある ・帰りは時間がなく振り返りはしていないが送迎後にグループライン等で気になった事を話している ・ミーティングが出来る日は行い打合せをしてから子供たちを迎え入れていたが「必ず」と言われると難しい。できない時もあった | ・残った職員が話し合っていることもあるが基本的にやっていない ・グループLINEで送迎後の情報共有をしている |
| 20 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 12 | | ・記録がモバイルになりいつでも確認できるようになった ・みらいダイアリーを活用し職員間、保護者間で共有が出来ている | ・記録がモバイルに変わってから再確認がいつでもでき検証がしやすくなった |
| 21 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 12 | | ・半年に1回、児発管が保護者と面談しています | ・半年に1回保護者面談を行っています |
| 22 | (放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 12 | | | ・児発管や保育士、指導員が話し合っている |
| 23 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか(児発管又は保育士、児童指導員など) | 12 | | | ・児発管が参加している |
| 24 | (児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 12 | | | |
| 25 | (放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 12 | | ・学校の連絡帳の確認や担任が直接連絡をくれます ・保護者の方や職員が事前の情報を早めに送ってきてくれます ・送迎時、学校と連携を取り共有出来る。学校のファイルも共有させてもらっている | ・学校から定期的に情報をいただけています |

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

| | | | | | |
|----|---|----|---|--|--|
| 26 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、看護、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 11 | 1 | ・地域の保健と連携はまだできていない | ・R5.12月から橋本伊都地域医療的ケア児等支援協議会に児発管が参加し連携し始めています ・話した内容はミーティングで話します |
| 27 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 12 | | ・担当看護師や児発管が連携を取り医師の指示書など共有しています | ・定期的に医師指示書を確認し医療機関と連絡体制を整えています |
| 28 | (児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 12 | | | |
| 29 | (児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 12 | | | |
| 30 | (放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 12 | | ・つなぎ愛シート等活用 | ・つなぎ愛シートを活用しています |
| 31 | (放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 10 | 2 | ・まだ対象児がいない ・まだ卒業予定の方がいらっしゃらないが卒業の時には情報共有が出来るよう念頭においている | ・対象児童がいません |
| 32 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 11 | 1 | | ・専門的な連携はないが助言など受け職員間で話し合っている |
| 33 | 放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか | 11 | 1 | ・図書館に行ったり地域のイベントに参加したりして地域の子供と交流している | ・地域に通っている職員の児童が長期休暇の時に遊びに来てくれる |
| 34 | (自立支援)児童連絡会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 11 | 1 | | ・児発管と保育士が児童連絡会に参加している |
| 35 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 12 | | | ・モバイル連絡帳と児発管がLINEで常に保護者と連絡を取っている |
| 36 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 9 | 3 | ・私がわかっていない ・ワークショップや日々の送迎時に行えているがさらに機会が増えればよいと思う ・交流会と一緒にを行う | ・児発管が保護者に定期的に連絡を取っている |
| 37 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 12 | | | 児童発達管理責任者が説明をしている |
| 38 | 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか | 12 | | | 児童発達管理責任者が説明をしている |
| 39 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 12 | | | 児童発達管理責任者が説明をしている |
| 40 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 12 | | | ・年1回程度保護者向けワークショップ(R5.6/19開催済) |
| 41 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 12 | | | ・地域の子供の保護者相談や見学等は随時受け入れ他事業所の情報など含めた相談援助を行っている |
| 42 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、みらいダイアリー連絡帳など体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 12 | | | ・毎月予定表の発行とモバイル連絡帳で情報発信している |

保護者への説明責任等

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 12 | | | ・児発管が管理しています |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 12 | | ・専門用語などは使わない様にしている | ・情報伝達の際にはわかりやすく且つ写真など用いている |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 8 | 4 | ・コロナ渦が少し緩和されこれからの課題 ・今年にはにこりまつりで家族さんが来てくださったが地域住民は呼べていない ・児童の特性上難しいと思っているがしたいと思っている ・にこり祭り、クリスマス会など | ・最近地域の小学生が興味津々で見ている ・のぞき見しやすい環境を整えたい |
| 非常時等の対応 | 46 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 11 | 1 | ・さらに見直し改善実行をしたいと思うが出来ているともう | ・前回自己評価した際、存在を知らない職員がいたので全員に確認したはずですが訓練時にマニュアルの存在アピールが足りなかったと思います |
| | 47 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 11 | 1 | | ・前回自己評価した際、存在を知らない職員がいたので全員に確認したはずですが訓練時にマニュアルの存在アピールが足りなかったと思います |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 12 | | | 児童発達管理責任者及び看護師が確認している |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 12 | | | 医師の指示書が必要なアレルギーのある児童はいない |
| | 50 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 11 | 1 | ・ファイリングしている ・事業所から出てきたものは読みたい | ・アエツク項目の説明不十分 3か月に1回ヒヤリハット提出しています |
| | 51 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 12 | | | ・委員会や研修会を年1回以上開催しています |
| | 52 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか | 12 | | ・来年4月以降法律が変更しそれに合わせて再度契約を交わすと聞いています | ・委員会や研修会を年2回以上開催しています ・重要事項説明書をR6.4月以降再契約し保護者に促していく |

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。